学校番号	3005

令和８年度　工業科（電気電子工学科）

教科	工業	科目	情報セキュリティ技術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「情報セキュリティ」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報セキュリティに関する知識と技術を学ぶとともに、セキュリティについてハード・ソフトの両面から仕組みを理解し利用する方法を学びましょう。セキュリティ対策についての重要性や法整備についても学び、活用できる力を身につけてください。

2　学習の到達目標

・セキュリティ対策についてハードウェア面とソフトウェア面から学び、個人情報や知的財産などの法整備についても理解し、様々なリスクに対するマネジメントについての知識や技能を身につける。
・情報セキュリティについての現状と必要性を知り、適切な対処方法について思考することができる。
・情報セキュリティについて関心を持ち、知識を活用する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報社会の現状と課題について理解するとともに、情報セキュリティの要素（機密性，完全性，可用性等）について理解する。 情報社会の脅威から身を守るための基礎的な知識や技術を身につける。	コンピュータやネットワーク上で情報を安全に利用し，活用するために守るべき法律について学び、情報社会の健全で持続的な発展について考えることができる。	情報セキュリティが保たれた情報社会の構築を目指して自ら学び，情報システムの運用・管理に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	情報社会と情報セキュリティ	1　情報セキュリティの現状 2　情報セキュリティの必要性	a:情報社会の現状と課題について考察し理解するとともに情報セキュリティが保たれた情報社会の構築をめざして自ら学び、情報社会の脅威から身を守るための基礎的な知識や技術を身につける。 b:情報セキュリティの要素（機密性、完全性、可用性等）について理解する。 c:情報システムの運用・管理に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	定期考査	定期考査 プリント	提出ノート
	情報セキュリティ対策	1　物理的セキュリティ対策 2　技術的セキュリティ対策 3　人的セキュリティ対策	a:技術的セキュリティ対策について具体例を学び、習得した知識・技術を活用し課題解決に取り組む。 b:物理的セキュリティ対策について具体例を学び、習得した知識・技術を活用し課題解決に取り組む。 c:人的セキュリティ対策について具体例を学び、習得した知識・技術を活用し課題解決に向けて主体的かつ協働的に取り組む。	定期考査	定期考査 プリント	提出ノート

後期	情報セキュリティと法規	1 総論 2 刑事法 3 プライバシーと個人情報 4 知的財産権 5 その他の法律	a:コンピュータやネットワーク上で情報を安全に利用し、活用するために守るべき法律について学ぶ。刑事法について学び、どのような行為が禁止されているかについて具体例を学び理解する。 b:プライバシー保護や個人情報保護の重要性を学ぶとともに、知的財産に関する法律について学び、情報を適切に活用するための知識や技術を身につける。 c:プロバイダ責任制限法や特定電子メール法について学び、情報を適切に活用するための知識や技術を身につける。	定期考査	定期考査 プリント	提出ノート
	情報セキュリティマネジメント	1 リスクマネジメント 2 情報セキュリティポリシー 3 事業継続	a:情報セキュリティポリシーについて学び、策定した方針や手順などの明確化が重要であることを理解し、効果的な情報セキュリティポリシーの検討について主体的かつ協働的に取り組む。 b:リスクマネジメントについて学び、情報資産を保護するための知識や技術を身につける。 c:事業継続について学び、事業が安定して継続的に遂行されるために検討すべきことについて主体的かつ協働的に取り組む。	定期考査	定期考査 プリント	提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度